2018年度「東京経大学会誌総目次」（第299号～302号）

■第299号（2018年12月）

釜江　廣志教授近影
釜江　廣志教授退任記念号の発刊に寄せて　南　原　　真
釜江　廣志教授略歴ならびに主要業績

論　　文
英米両国における日本外債市場の効率性　釜　江　廣　志
非伝統的金融緩和の下での国債イールドカーブの推移　秋　森　　弘
公募社債市場へのアクセスが企業の負債利用水準に及ぼす影響
　――日本市場における実証分析――　岩　木　宏　道
日本国債先物における実証分析　皆　木　健　男
アジアにおける国債市場統合の実証分析　熊　本　方　雄
　卓　　涓　涓
Fixed Costs, Positive Pure Profits and the Number of Firms　浄　土　　渉
生産関数を用いたマークアップ率の計測に関する検証　中　村　　豪
「グローバル資本主義」のバブル循環と世界金融危機（1）　長　島　誠　一

研究ノート
東京都排出量取引制度――現状と課題（1）　福　士　正　博

■第300号（2018年12月）

論　　文
企業による利益の切り上げ行動の分析
　――ベンフォードの法則（Benford's Law）を用いて――　金　鉉玉
ラテンアメリカの先進小売市場メキシコにおけるインターネット小売業の現状
　――バック・システムの構築を目指した取り組みを中心に――　丸谷　雄一郎
社会企業家による攪乱する反復と倫理的実践
　――株式会社アバンティによるオーガニックコットンの事例分析を通じて――石黒　督朗
Saturation of Piano Markets：History of the U.S.

and Asian Piano Industries　田中智晃

研究ノート
均等論における意識的除外論の適用
――最判平成29年3月24日民集71巻3号359頁の分析――　小島喜一郎
eラーニングプラットフォーム（Moodle）を使用した学習効果の測定　板橋雄大

■第301号（2019年2月）

論　文
記号的消費社会論批判――ボードリヤールを中心に――　福士正博
東アジアの近現代都市――その共通点と相違点――　橋谷弘
「グローバル資本主義」のバブル循環と世界金融危機（2）　長島誠一
資本価値について　小島寛
日本領事報告掲載の蘭領東インド（インドネシア）関係記事の概要と特徴
――1928年から1942年――　南原真
経済政策の視点から見たアベノミクスの働き方改革　井上裕行
宇野弘蔵の段階論の方法における歴史と現在
――典型・中心、自由主義の観点から――　岩田佳久
日本における一般ゴミ分別収集システムの導入過程：
――ゴミ分別収集を試みている中国の視点から――　羅歓鎮
欧州統合運動におけるベルギー新自由主義　小島健

研究ノート
東京の産業集積の特徴　長岡貞男
門脇誠
ベン・バーナンキの「貨幣創出を財源とする財政プログラム（MFFP）」について
岡本英男
福祉国家の再編と時間政策――なぜいま「時間」なのか――　李蓮花

■第302号（2019年2月）

論　文
企業集団の捉え方と資本・利益の表示
――Newlove学説及びChilds学説を拠り所として――　神納樹史

日本企業の財務諸表エラーの測定に関する検討
——ベンフォードの法則（Benford's Law）を用いて——　金　鉉　玉
マレーシアにおける国民車とトヨタの試み
——特殊市場でのトヨタ ASSB 工場と現地部品メーカーの対応——　田　中　智　晃
星　埜　通　夫
リスクプレミアムの２段階推定におけるバイアスの修正方法の比較　木　下　亮
戦前における生命保険再保険の導入の経緯
——現代の再保険市場の理解の糸口——　米　山　高　生
マーケティングにおける交換の性質の再吟味
——シェアリングエコノミーの進展を受けて——　近　藤　浩　之
首都圏の鉄道投資における資金調達問題　青　木　亮

研究ノート

ドラッグストアにおけるストア・ロイヤルティ構築要因に関する仮説構築　本　藤　貴　康
アクティブラーニングの教育効果に関する一考察　加　藤　みどり
佐　藤　修
安　田　宏　樹